

環境×人権×アート共創イベント



2023年
11月24日〔金〕 13時-16時
11月25日〔土〕-12月2日〔土〕 10時-16時
12月3日〔日〕 10時-12時

「人間と文化から 地球環境問題を考える」展

京都市立芸術大学7階 学外連携・政策連携多目的スペース

主催：総合地球環境学研究所 | 共催：京都市（京都市アート×SDGs共創推進チーム） | 協賛：世界人権問題研究センター・崇仁高瀬川保勝会
アクセス：地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車 徒歩6分 | 市バス4、16、17、81、205、南5号系統「堀小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ



Research Institute for
Humanity and Nature
大学共同利用種別法人 総合地球環境学研究所
人間文化研究機構

「地球環境問題の根源は、人間の文化の問題」をモットーとして地球環境問題を解決するための研究を推進する総合地球環境学研究所(地球研)。本イベントでは、地球研のプロジェクトの中でも、インドネシアやミャンマーで大きな問題になっている零細小規模金採掘(ASGM)による水銀汚染の解決を目指して研究や実践を行うSRIREPプロジェクトの取り組みを中心に、地球研の研究活動をご紹介します。会場では、貧困のため金鉱山で働かざるを得ない人々にとって、新たな代替収入となりうるインドネシアの伝統刺繍「カラウォ」を展示し、女性の地位向上も含め、真の環境問題解決に向けた実践とは何かを考えます。カラウォ刺繍を施された美しい衣装の試着もいただけます。

また、インドネシアで活動をする田中奈津子、Grafis Huru Hraの魚拓を元にしたアート作品《Re:Gyotaku》の展示や、高瀬川周辺の歴史研究を通じてまちづくりに取り組む崇仁高瀬川保勝会の活動紹介も行います。



撮影:肥後亮祐、画像提供: Gallery PARC



左:田中奈津子 | 右:Grafis Huru Hara

Grafis Huru Hara

2012年に設立されたジャカルタに拠点を置くプリントメイキングのコレクティブ。2018年にはruangrupaやSerrumとともに現代美術と集積的な研究のエコシステムであるGudskulを立ち上げました。環境、政治など時事的なテーマを取り上げた作品を創作するほか、コラボレーションを大切に、各地で版画のワークショップを開催するなど国際的にも活動の幅を広げています。

田中奈津子

1981年北九州市生まれの美術家。2007年京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻終了。2020年よりインドネシアへ移住し、現在は北九州とジャカルタを往復しながら絵画制作、発表、ワークショップ等を両国の様々な都市で開催している。インドネシアへ移住後は現地のコレクティブやアーティスト等と協働したプロジェクト等も行うようになった。日本とインドネシア二カ国間を移動しながらその間で起こる社会的、文化的摩擦、感覚の変化等あらゆる事象を受け止め、それらの交錯する場所から出来る絵画制作について考えている。

総合地球環境学研究所

総合地球環境学研究所(地球研)は、2001年に京都府京都市に創設された国立の研究所です。地球環境問題を「人間(Humanity)」と「自然(Nature)」の関係はどうあるべきか、という広い意味での人間文化の問題として根本からとらえ直そうとしています。未来の人々も快適に住み続けることができるような、平等かつ公平な地球社会の実現を目指して研究を進めています。

世界人権問題研究センター

世界人権問題研究センターは、平安建都1200年を記念し、1994年に設立されたアジア初の人権問題研究機関です。現在、「インターネットと人権」「共に生きる地域研究の可能性」「ビジネスと人権」などの研究活動を行っています。本年10月の京都芸大内への移転を機に、「人権、芸術、環境」と研究活動のウイングを大きく広げています。

京都市アート×SDGs共創推進チーム

京都市、総合地球環境学研究所、世界人権問題研究センター、京都市立芸術大学、京都市芸術文化協会、京都市音楽芸術文化振興財団、HAPS(東山アーティスト・プレースメント・サービス)が参画。文化・人権・環境など分野を超えた連携の力を活かして、まちづくりや地域の活性化、共生社会・SDGsの実現、産業・経済の活性化、福祉・医療の向上など、社会課題の解決や新たな価値の共創を目指します。

崇仁高瀬川保勝会

2017年4月設立。崇仁地区を流れる高瀬川を生命あふれる美しい川にしようと、毎月第1土曜日に川掃除と交流会を行っています。また高瀬川の上に「崇仁テラス」を季節に応じて設置し、人と自然の交流スペースをつくるほか、子供たちの生きもの調査やさまざまな芸術活動、高瀬川周辺の歴史研究を通じて、自然と歴史とアートが交わり、ホテルが飛び交う川づくり=まちづくりをめざしています。

「人間と文化から地球環境問題を考える」展

※なお、期間中に研究者とアーティストのトークイベントも企画しています。

詳しくは地球研のウェブサイトをご確認ください。



【関連企画】

展覧会『Ground Zero』

会期: 11月11日-12月10日 10:00-20:00 | 会場: 京都芸術センターギャラリー北・南
会期中に環境や、戦争や惨禍へのマテリアル・エビデンスとそれを取り巻く芸術実践などを紹介するトークなども実施します。詳細は京都芸術センターのウェブサイトをご確認ください。

<https://www.kac.or.jp/events/34621/>